

## ～芥川龍之介を読む～

今年、芥川龍之介生誕130年の年です。明治に生まれながら、今なお私たちを魅了し続ける芥川。「ピアノ」と「或阿呆の一生」を勉強会で取り上げた後、各自で「気になる芥川作品」を選び（芥川は35歳の生涯のうちに短編・エッセイ・書簡など、300以上の作品を残しています）、本日、皆様にもお聞きいただくという運びになりました。

時間の関係で作品を割愛した箇所もあります。プログラムの順番は、出版年などに関わらず「くじ引き」で決めました。感染予防対策のため、マスクでの朗読となります。どうぞご承知おきください。

これから2時間、芥川の様々な横顔を見つけながら、ごゆるりとお楽しみいただければ幸いです。

朗読ボランティアグループ 桐の葉 一同

「野呂松（のろま）人形」	白石 可能子
「葬儀記」～漱石追悼記	岡本 悦子
「蜜柑」	村上 かをる
「侏儒の言葉」より	西原 洋子
「蜘蛛の糸」	稲富 祥
「ピアノ」「女仙」	進藤 ひとみ
「寒山拾得（かんざんじつとく）・東洋の秋」	月原 貴子
「尾生の信（びせいのしん）」	佐藤 道子
「雛」	山本 都
「トロッコ」	高橋 忠子
「或阿呆の一生」「芥川の遺言」	内田 宣子
「鼻」	向坂 真弓